

高等教育自学考试
日语专业指定教材
(修订版) 上级下册

大学日语

嘎日迪 正木好弘 山本哲也 编著

DAXUERIBENYU

大连出版社

高等教育自学考试
日语专业指定教材

大学日本语

(修订版)

上级 下册

嘎 日 迪
正木好弘 编著
山本哲也

大 连 出 版 社

大连外国语学院日语专业教材编委会

主任:徐甲申

顾问:刘和民

编委:蔡全胜 陈 岩

大学日本语(修订版)上级 下册

嘎日迪 正木好弘 山本哲也 编著

责任编辑:张 波

策划编辑:孙德彦

封面设计:曹 艺

责任校对:金 琦

出 版 者:大连出版社

地址:大连市西岗区长白街12号

邮编:116011

电话:0411-3621147

印 刷 者:丹东印刷有限责任公司

发 行 者:各地新华书店

幅面尺寸:140毫米×203毫米

印 张:11.75

字 数:230千字

出版时间:2004年2月第2版

印刷时间:2004年2月第1次印刷

印 数:1-5000

ISBN 7-80555-835-3/G·254

定 价:36.00元(上、下册)

修订版前言

《大学日本语》(上级上、下册)出版发行以来,不觉间十易寒暑。蒙同行及广大学习者的厚爱,它不仅一直为大学本科教学所使用,还被指定为辽宁省日语专业自学考试教材。

为了使之更好地为广大读者服务,编者根据多年的使用情况,感到有必要进一步完善本教材。此次在大连出版社大力支持与关怀下,本教材终于得以重新修订出版,实现了编者多年的宿愿,这对编者无疑是一件欣慰的好事。

考虑到广大自学考试学员学习上的特点和作为自学考试教材的连续性问题,此次修订时,在保留本教材本身的编写方针和课文内容的前提下,对课文中出现的一些难以理解或查找的词句,作了较多的改动或补充。每篇课文新设了文法与句型一栏,并在书后附加了文法·句型索引和辽宁省高等教育自学考试日语精读(一)(二)考试大纲及其考试题例。另外,在版式、装帧设计等方面也加以修改,力求该书从内容到形式更加完美。

参加本书修订的还有包海明、于丹、张艳萍、杜红坡、李晓东、徐晓、洋洋等。

由于水平所限,本书难免有不足之处,敬请广大读者多提宝贵意见。

编者

2004年1月于大连

前書き

先に「大学日本語・上級(上)」を大学3学年用の日本語テキストとして出版した。それが幸いにも好評をもってむかえられ何よりと思っている。しかし、このことはそれにつづく4学年用を必要とすることになった。そこで編集方針は全く同じものとして本書を編集した。

ただ、「上級(上)」は、1週6時間・年間222時間の総授業時数を念頭において編集した。が、本書では1週間4時間・年間136時間の総授業時数となってもすべてを学習し終えることが出来るようにと考えた。そのため、「上級(上)」よりは〈補注〉の記述を多くすることにした。

この「大学日本語・上級」の上・下2冊によって、中国の日本語教育の質的転換のための一つの材料は提示したつもりである。しかし、教育では、どんなにいい材料を用意したとしても、それを用いて実際に授業を行なう担当者や学習者の姿勢如何によって、その効果は期待するほどのものでなくなってしまうことがある。そこで、このテキストを利用する人々は編者の願いを理解し、研究心をもって楽しく勉強してほしい。そうした取り組みによって、中日友好の懸け橋となる人材が多く誕生することを期待したい。

最後に、本テキスト編纂にあたり採用させていただいた作品の筆者の皆さんに感謝申し上げます。

編 者

目 次

1. 現代日本語の話し言葉	1
ワカル日本語デ話シテクダサイ	2
松田輝雄、バレリー・ケイン	
栗田 勇、中村克洋	
いま東京語は	広本義行 30
2. 社会に目を向ける	55
学校は楽しくなくちゃ.....	山田洋次、牟田悌三 56
企業社会	佐高 信 73
3. 古典	88
奥の細道	松尾芭蕉 93
孔子の言葉.....	105
4. ワープロと公用文	113
日本ワープロ解体新書.....	中野不二男 114
ビジネス文書.....	坂井 尚 144
[講座①]天声人語.....	165
1993 年 11 月 22 日	
1994 年 6 月 11 日	
1994 年 6 月 15 日	
5. 小説	170
ビター・スウィート・チョコレート	玉岡かおる 171
御祝儀袋.....	群 ようこ 205
6. 国際的なものの考え方	233
「南」とは何か.....	中村尚司 234

変な外人の交流体験	アンジェロ・イシ	246
7. 化学と環境		254
物質の構成と原子.....		255
窒素酸化物の低減できれいな大気を		
.....	入山文郎、田中滋実	277
8. 詩歌の世界		292
詩の伝統に見る日本のころ.....	大岡 信	293
言霊將軍実朝.....	井沢元彦	306
[講座②]日本人のライフサイクル.....		341
ライフサイクルの変化.....		342
結婚と子供・高齢者の厚生省調査結果		343
附录 1		
文法・句型索引		347
附录 2		
辽宁省高等教育自学考试日语精读(一)(二)考试大纲.....		351

1. 現代日本語の話し言葉

〈単元のねらい〉

この単元は会話学習のまとめのための単元である。日本語の会話では、話し手と聞き手との関係によって、話し方がいろいろ変わるものであることは「上級(上)」の「ドラマ」や「日本語」「小説」の単元で確認してもらえたことと思う。その確認のうえで、パブリックスピーキングとしては、どのような話し方が望ましいかをつかんでもらいたい。

「ワカル日本語デ話シテクダサイ」は「ことばは変わる」というテレビ番組の1回分を文字化したものである。最も標準的な会話表現の例として味読してほしい。「いま東京語は」は現代日本語の話し言葉にみられる特徴について書かれた「朝日新聞」の連載シリーズの第3部(1993年10月19日～28日掲載分)である。その記述で指摘されている、現代日本語の話し言葉ならではの現象と、現代日本語の話し言葉に限ったものではない現象に気づいてほしい。そのうえで、国際化の中で、どう表現することが望ましいかについて考えるきっかけにしてほしい。

ワカル日本語デ話シテクダサイ

司会者 松田輝雄(アナウンサー)

バレリー・ケイン(英語会話講師)

ゲスト 栗田 勇(作家)

レポーター 中村克洋(アナウンサー)

1. スタジオ

松田:生きた日本語の最先端をさぐる番組「ことばは変わる」です。最近日本で、こう暮らしている外国の人がたくさん増えてきましたね。しかも日本語をじょうずに話します。そういった方から話しかけられた時に私達はきちっと日本語で答えることが出来るのでしょうか。暮らしとか習慣が全く違う外国人と日本語で私達は話をするコミュニケーションすることが可能なのでしょうか。

バレリー:そうですね、私もはじめて日本に来た頃、あのう少しわかる日本語で話してほしいなあと思いましたねえ。はい。

松田:つまり、それは私達が普段日本語をどのように考えているのか、どのように意識しているのかということの表れであると思うんですね。相手へのどのような思いやりをもっているのかということも含めて、きょうは言葉をみていきます。バレリーさんは日本に来て、もう7年になります。日本語もじょうずです。しかし、外国の方ということで我々がずいぶん敬遠してしまう場合もあるのですね。そのあたり、取材をしてもらってるんで

す。まず映像を御覧下さい。

2. 東京・新宿駅東口前

(バレリーさんがインタビューしている)

バレリー: あのもの、あの困っている外国人を見かけたとする
と話しかけますか。

学生風の男性: 困っているって分れば、たぶん話しかけると思
います。

バレリー: あ、そうですか。

中年の婦人: そうですね、一応かけますけれど、英語ができな
いもんですから。

バレリー: はい。

中年の婦人: わずかでしたら話せますということだけ言って。

バレリー: ええ。

中年のサラリーマン: かけます。

バレリー: それは英語で話しかけますか。

中年のサラリーマン: いいえ、ジェスチャーで。

バレリー: あ、ジェスチャーでですか。

OL: はいかけます。

バレリー: それは英語で話します? 英語で声かけますか。

OL: 違う、日本語で。

バレリー: 日本語で。

OL: はい。

バレリー: 外国人が日本語で話しかけた場合、会話できる?

男子高校生: あ、答えます。

バレリー: それはうまく対話できると思いますか。

男子高校生: あ、対話。

バレリー: 自信ありますか。

男子高校生: 自信ないですけど、一応そこそこ。

主婦: あ、大丈夫ですよ。

バレリー: それはうまく対話する自信がありますか。

主婦: それは出来ると思いますけど。

松田: みんな出来るんですね。

(時計 11:00を指している)

バレリー: うん、ほとんどの人が、やはり日本語だったら出来ると言っています。(笑い)そこで新宿駅の東口のほうで私自身が困った様子で立ってみました。それで大きなトランクを持って地図を見ているんですよ。あたりを見回しているんですけども、こう5分たってもだれも話しかけてくれません。(笑い)

松田: すみませんでした。まだ来ません?

(時計 11:09を指している)

バレリー: 9分たっても10分たっても、そして15分近くたってやっと一人、ですね。この女性、この女性ですね。彼女が声をかけて下さいました。

松田: 日本語で?

バレリー: いや英語で。ええ、英語で話したんです。

松田: ちょっと英語が分らないと我々もなかなか、こう助けられない。

(時計 11:15を指している)

バレリー: ええ、そこで私の方から今度日本語で都庁へ行く道をたずねてみました。

3. 新宿三丁目伊勢丹前

(雑踏)

(二人づれの男子大学生に話しかけるバレリーさん)

バレリー: 都庁に行きたいんですけども行き方を教えていた

だけですか。

男子大学生 A: えーつと都庁は、ここからですと、…(言葉につまる)。

男子大学生 B: えー、あすこの、

バレリー: ええ。

男子大学生 B: 新宿の下に交番がありますからそこで聞いて下さい。

バレリー: 新宿の下って?

男子大学生 B: 新宿の地下にあの、…。

バレリー: 新宿駅ですか。

男子大学生 B: 新宿駅の地下に交番がありますから、

バレリー: ああ。

男子大学生 B: そこでもう一度聞いたら、…。

バレリー: 新宿駅は歩いてどれくらいですか。ここから。

男子大学生 B: 歩いて…。

男子大学生 A: 歩いて10分あればつきますから、

バレリー: 10分ぐらい歩けば?

男子大学生 A: この道まっすぐ行けばありますから。

バレリー: まっすぐ行くとある。

男子大学生 A: はい。

(二人連れの若い女性に話しかけるバレリーさん)

若い女性 A: 地下鉄の入口があるんですよ。

バレリー: はい。

若い女性 A: そこ入って。

バレリー: はい。

若い女性 A: それで西口に出て、

バレリー: はい。

若い女性 A: それから。

バレリー:そこ入ってから、どのくらい、西口つくまで、どれくらいあるんですか、歩くんですか。

若い女性 A:どのくらいかな。

若い女性 B:歩いて5分。

若い女性 A:5分。

バレリー:5分ぐらいですか。で、西口に、

若い女性 A:出て、で西口から、

バレリー:また地上に出るんですか。

若い女性 AB:はい。

若い女性 A:それで、

若い女性 B:まっすぐ、

若い女性 A:西口まっすぐ?

若い女性 B:でも、そうしたら、都庁見えます。

バレリー:見えます?

若女性 A:え、見えませんか? ハハハ(笑)。

(60歳位の年齢の男性に話しかけるバレリーさん)

バレリー:地下鉄に入るのにどこ…、

お年の男性:あ、どこでも結構です。その地下鉄と書いてありますね。

バレリー:どこ、どこですか。あつ、あそこ。

お年の男性:あそこ入って、

バレリー:地下鉄と書いてあるところを入れればいいですか。

お年の男性:で、入って、地下道をずーっと歩いて、どんどんどんどん行って、突き当たって、

バレリー:はい。

お年の男性:左へあがるわけです。

バレリー:突き当たって左ですか。で、ずーっとまっすぐ行って、

お年の男性: ええ。

バレリー: 突き当たって左へ行って、

お年の男性: あ、突き当たるのかな? あ、突き当たりですね。
だいたい突き当たりですね。

バレリー: だいたい突き当たり? だいたい突き当たり。

お年の男性: 最近行ったことないんでね、ちょっと分からない
んですけどね、

バレリー: あ、そうですか。左、左へ曲がる所は一つしかない?

お年の男性: ええ、大勢あがっていきますから、

バレリー: はい。

4. スタジオ

バレリー: みなさん一生懸命教えて下さったわけですから、ええ、しかし、新宿をよく知っている方でしたら、あの、たぶんこの説明で通じると思いますけれども、私のはじめて新宿に来た外国人でしたら、ちょっと心もとない案内ではないかと思いますね。

松田: 日本語が分っている外国の人が日本語でたずねてきたんですが、我々日本人が、今度は日本語で答えることが出来ない。(笑い)

バレリー: ややあいまいな表現。

松田: 非常に、だから、その私達が持っている知識といいましょうか、それをわかる日本語で伝えることがとてもむずかしいということですね。一生懸命、いまの方たちも教えてはいるんですが、言葉がなかなか、わかる日本語としては通用していないということなんです。スタジオには、栗田さんにおいでいただきました。ありがとうございます。作家の栗田勇さんです。フランス文学の御研究をなさっていらっしゃいますし、国際的な視野で、日

本文化を、外にも、御紹介していただいているんですが、いまの御覧になって、若者、お年の方もいらっしゃいましたが、いかがでしたか。

栗田:そうですね、まあ、我が姿を見るような所がありますけれど、やはり外国の方と話しているのを見ると、改めて自分達のつかっている日本語とか、使い方というものを反省するというか意識する、

松田:ええ。

栗田:ということが非常に大事ですね。

松田:そうですね。日本人どうしであつたら今の言葉で十分わかると思うんですよ。かなりわかると思うんですがいかがでしょうか。ハハハ。

栗田:結局、その言葉の背景ですね。まあ、意外に、その共通の情報とか、お互いに了解していることがあるんですね。そのうえに立って、私達は言葉をつかっている。それを全然、この相手の立場に立って見ないで、いきなり言葉をならべても、言葉のそのね、風景というものが見えてこないんですね。

松田:ははーあ。まあ、具体的に言いますと、たとえば、教えてくれた人は、新宿はみんな知っているものと思って説明してくれてるわけですが、

バレリー:約束事が違うというか、ないというか、なにかそこにあるのではないのでしょうかね。

栗田:だから、言葉に対する自覚がないんですね。結局。

松田:普段、我々が話している言葉に対してですが、

栗田:ええ、えー。

松田:ですから、どうしても相手の気持ちの、立場に立てなくて自分だけが勝手に話をしていったということになっ

てしまうわけなんでしょうかね。

松田:そうですね。

松田:そういう、言葉、日本語はわかるんだけど、伝えることが出来ない。なかなか立場に立てないというんでしょうかね。中村アナウンサーにそういった具体的な場面で、じゃ日本人はどのように日本語で説明をしているのか、ということですね。

中村:はい。常に外国人と日本語で接している、まあ現場といえますか、ケースがありますね。そこで、日本での生活のルールなど、具体的なものをちょっと込み入った感じで説明しなきゃいけないというケースが起きてくるわけですね。具体的にちょっと見て下さい。

5. 東京文京区のアパート

(アパートの外、アパート経営者の原順子さんが中村アナウンサーとやってくる。アパートの入口を入ったところに、部屋番号を示し入居者の名前を書いた紙がはられている)

中村:まず、東京文京区のアパートの大家さんです。このアパートに住んでいるのは17人で、そのうちの11人が外国人留学生。敷金・礼金の意味から、ゴミの出し方まで、日本の生活のルールを1から教えるのは大変です。この日はマレーシアから来た2人にゴミの分別収集の説明です。

(ある部屋のドアをノックする原さん)

大家:ヒョンさん。

ヒョン:はい。

大家:あけて。

ヒョン:あー、こんにちは。

(2人のマレーシアからの留学生が顔を出す)

大家:こんにちは。今日ねゴミのこと、ここにゴミがこんなふうになっているけどね。ゴミ、ビニールのゴミと、この生のゴミとね、別に捨ててもらわなくちゃいけないのね。この袋、今日持ってきたけどね、これには生のゴミとか野菜のクズとかなんか、みんなね、

ヒョン:はい。

大家:入れて、そして燃えないゴミはこっちのビニールに、こういうもの、ね。それからビニールとか、みんなこういうものは、こういうビニールの袋に入れて捨てるように。(カレンダーを見せながら)月曜日と水曜日と金曜日は、こういう生のゴミを捨てる日なのね。

ヒョン:はい。

大家:そして、木曜日にはビニールのゴミだけ捨てていただきたいんです。

ヒョン:はい。

大家:お願いします。

ヒョン:はい。どうもありがと、ございました。

大家:はい。

(原さん、中村アナウンサーと話す)

大家:何度も失敗くりかえして、何もやってくれなかったりして、失敗くりかえして、

中村:うむ。

大家:そして、もう水浸しになったりなんかいろんなことして、もう畳が腐っちゃったりすることもありますよね。

中村:(あいづちをうつ)うむ。

大家:あの話が通じないということだけで、そういうことになることもありますけれども、

中村:うむ。